

名古屋市社会福祉協議会「ポストコロナ社会で私たちができることを考える講座」
2020年11月4日（水）

コロナ禍の影響を受けた 外国人支援の取り組み

特定非営利活動法人
多文化共生リソースセンター-東海

団体概要

多文化共生分野の**中間支援NPO**として2008年10月に設立。

「**多文化共生**」は、活動分野（取り組んでいる社会課題）

「**リソースセンター**」は、活動内容（社会資源の収集整理発信）

「**東海**」は、主な活動地域（愛知・岐阜・三重・静岡）

を表しています。

住所・連絡先

〒453-0041 愛知県名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら内
地下鉄東山線「本陣(ほんじん)」駅 2番出口から徒歩7分

【tel】070-4114-6268 【fax】050-3488-1414 【E-mail】mrc-t@nifty.com

【HP】<http://mrc-t.blogspot.jp> 【FB】<http://facebook.com/tabunka.tokai>

役員・スタッフ

理事 7 名、監事 2 名、スタッフ 3 名

* 専従 0 名、非専従 6 名

コロナ禍での主な取組

1. 外国人支援に関する情報発信（全国）
2. 外国人支援に関する支援者ネットワーク（県内）
3. 公的支援制度の拡充に関する提言（全国・県内）
4. 帰国困難者等への生活支援等
5. 今後に向けて

1 外国人支援に関する情報発信（全国）



新型コロナウイルス多言語情報参考まとめ

新型コロナウイルス多言語情報参考まとめ

公開中 18本

並び替え・削除

メディアニュース◎(10/9更新)

ここでは、新型コロナウイルス感染症に関連した各種メディアからのニュースのうち、外国人への影響等について触れられたものを中心にご紹介...

♡ 8

NPOタブマネ
07/23



<http://bit.ly/2lv5i3c>

■ 目的

公的機関等の情報発信・相談対応に役立つ情報を整理して発信。メディア等を通じて外国人への影響に注目を集め、対応を促す。

■ 対象

公的機関の広報・相談窓口担当者
メディア、一般市民

■ コンテンツ

- メディアニュース
- 民間による支援メニュー
- 政府による施策・支援メニュー
- 各地の多言語情報発信サイト
- 外国人からの相談事例

2 外国人支援に関する支援者ネットワーク（県内）

② NPOおたがいさま会議への参画

<https://bit.ly/3k1b7ql>



5月19日、NPO法人レスキュー・ストックヤードにより第1回開催（zoom）
毎週火曜日16:00～17:00（17:00～コア会議）

各団体の課題と取り組みを共有し、相互に協力できることをマッチング
メンバー：約60名（NPO、自治体、社会福祉協議会、企業、学生等）

<具体的な成果>

- ・ 災害支援NPOによる
生活物資の提供
- ・ 大学生による
オンライン日本語講座
- ・ 名古屋市社協による
ボランティア活動促進講座



■第1回（5月19日）こどもNPO、セカンドハーベスト名古屋など

■第2回（5月26日）ボラみみより情報局、地域福祉サポートちた、日本福祉協議機構など

■第3回（6月2日）のわみ相談所

■第4回（6月9日）多文化共生リソースセンター東海、NPO まなびや@KYUBAN

■第5回（6月16日）徳林寺、在東海ベトナム人協会



3. 公的支援制度の拡充に関する提言（全国・県内）



- ・ 厚労省HPの意味不明な機械翻訳
→3/4～人手による翻訳に
- ・ 帰国困難者の就労制限・支援対象外
→5/20～一部就労可、給付金等の対象に



新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の実施について

3/10～ 制度開始
3/24 電話確認→「永住者」に限る

4/14 あいちコミュニティ財団
→県社協役員に相談

4/30～ 東海ろうきん窓口
→在留資格を問わず

5/15～ 社協窓口でも同様に

◆記入いただくもの（多言語翻訳版）

※こちらは申請に必要な書類のご案内です。申請には使用できません。

This is a guide to the documents required for application.
It cannot be used for application.

- ① 英語 (PDF2,080KB)
- ② 中文簡体字 (PDF1,827KB)
- ③ 韓国語 (PDF1,734KB)
- ④ スペイン語 (PDF1,898KB)
- ⑤ ポルトガル語 (PDF432KB)
- ⑥ ベトナム語 (PDF2,251KB)



4. 帰国困難者等への生活支援等

相生山 徳林寺（名古屋市天白区）

- ・ 在東海ベトナム人協会より、帰国困難者等の支援要請
- ・ 4/18～帰国困難者の受け入れを開始
 - 【条件】
 - ・ 帰国希望であること
 - ・ 住居喪失または家賃支払い継続困難
 - ・ 入管への出頭
 - ・ ベトナム大使館への帰国申請
 - ・ 母国の家族等への連絡
 - ・ 生活ルール遵守（菜食、飲酒厳禁）、etc.
- ・ 10/15までに全国から約120名を受け入れ
 - 約 8 割が技能実習性（他、留学、技・人・国、難民申請中）
 - 約 8 割が超過滞在（他、短期滞在・特定活動に変更）
 - 現在、約25名が滞在（2週間に10人程度の増減）

4. 帰国困難者等への生活支援等

主な支援内容

■ 徳林寺

- ・ 住居・食事提供
- ・ 生活・健康相談
- ・ レクリエーション
- ・ 移動支援
- ・ メディア対応
- ・ 外部からの問い合わせ対応
- ・ 活動資金調達（寄附）

■ 在東海ベトナム人協会

- ・ 入居希望者者受付
- ・ 親族等との連絡調整
- ・ 生活ルール・マナー指導
- ・ 大使館・領事館との交渉

■ 多文化共生リソースセンター東海

- ・ 活動資金調達（助成金）
- ・ 生活資金補助（寄附）
- ・ 転出届・住民票除票の取得
- ・ 給与未払いについて労基署への申告
- ・ 銀行口座等の取引再開
- ・ 監理団体への帰国費用の支払い請求



4. 帰国困難者等への生活支援等

<メディア掲載>

6/12、KOKORO：名古屋の駆け込み寺「徳林寺」
<https://bit.ly/352GwIZ>



7/20、中京テレビ：「悲しいおめでとうだね...」
コロナに翻弄されるベトナム人救った名古屋の住職
<https://bit.ly/32Mo6Xe>



9/26、FNNオンライン：コロナで仕事失い帰国も出来ず...
居場所なくしたベトナム人の『駆け込み寺』
<https://www.fnn.jp/articles/-/88185>



10/1、中京テレビ：新型コロナで困窮のベトナム人
名古屋の寺に身を寄せ...“大きな家族”支える住職の“無償の愛”
<https://bit.ly/3n8KOk4>



特定非営利活動法人
多文化共生
リソースセンター
東海

5. 今後に向けて

懸念されること

- 新規・継続支援メニューの不足
 - 各種支援金、食料等生活物資
- 広まる情報格差
 - Go To XX等、景気回復策は対象外？
- 支援活動の継続困難・規模縮小
 - 支援団体の活動停止、資金不足
- 教育・経済・治安等への影響拡大
 - 廃業、正規滞在化、不法就労、公的支援対象外
- 産官学民の連携が弱体化
 - “本業” への専念

対応策

- 実態把握
- 情報共有
- 連携・協働

「災害」か否かに
関わらず必要!!

特定非営利活動法人
多文化共生
リソースセンター
東海